

【安全・安心・快適なまち①】

石井 滯（いしい みお） 穂高東中学校

私は、穂高東中学校二年、石井滯です。

安全・安心・快適なまちグループは、防災のまちづくり、交通安全・防犯、道路や河川の管理・整備・都市計画、住みよいまちづくりについて学習をしました。

そこで、各議員から質問をさせていただきます。

私は、災害時への備えについてお尋ねいたします。自分が思う課題は、防災・消防・そして災害への対策に力を入れている安曇野市ですが、実際に市民の人に広まっているとは言い難いと思います。私の身近な人のほとんどが、まだ災害時への備えをしていません。災害はいつくるかは分からないので、このままだと、何も分からないまま災害に巻き込まれてしまう人が出てきてしまうと思います。その課題の原因として、まだ市民への呼びかけが不十分なのではないかと考えます。そこで私は二つの方法を考えました。

一つ目は新たな防災パンフレットの作成です。現在は防災マップなどをおおよそその地域に分けて一冊にまとめていましたが、それだと自分の住んでいる地域を探すのが大変です。ですから、地域ごとに指定緊急避難場所または、指定避難所を記したり、被害凡例防災グッズの案内、例えばどこで防災グッズが買えるのかなどを記したりした防災マップを作成して、地域ごとにその防災マップを学校なども含めて配布することです。

二つ目は安曇野市主催の防災ポスターコンテスト等を開催することです。コンテスト開催により防災への興味がわくと思います。更に賞がついたポスター等をまちに掲示し、防災への呼びかけができればよいと思います。

その実現のため、市にお願いしたいのは、改良した新防災マップを地区別に配布することと市民からの防災ポスターの募集を考えます。そうすることで、防災時への意識が高い安曇野市になるのではないのでしょうか。

以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【安全・安心・快適なまち②】

米倉 遙（よねくら はるか） 堀金中学校

私は、堀金中学校二年の米倉遥です。

私は、指定避難所での中学生の活動についてお尋ねいたします。

私は思う課題は、災害が起きた時に、指定避難所での中学生の活動が見えにくいということことです。

現在堀金地区の避難訓練では、中学生は指定緊急避難場所に避難するだけで、あとはほとんど地区の大人の方たちが活動をしています。このような状況では、実際に災害が起きた時に、中学生が指定避難所で活動したくても、何を手伝えればよいのかわからず、何もできないと思います。

自分たちから気付いて活動するのが一番良いとは思いますが、災害が起きて動揺している場合は、きっと自分から活動するのは難しいと思います。

そこで、私は指定避難所で中学生が積極的に活動できるための方法を考えました。それは普段から緊急時に何ができるか自分なりに考えておくということです。「備えあれば憂いなし」という言葉のとおり、心の備えのしておくことがいざという時の行動につながると思います。

私は以前、熊本地震の被災地で、中学生が指定避難所で活動しているニュースを観ました。あの中学生のように、私も今から被災地で何ができるか考えていれば災害時に何か役に立てると思いました。

その実現のため、市にお願いしたいことは、中学生が指定避難所でできる具体的な活動をパンフレットで示して頂きたいということです。そうすることで、もし災害が起きたときは、指定避難所で中学生がお手伝いできると思います。中学生が活躍することにより避難した人も安心して過ごせるのではないのでしょうか。

今、日本は、土砂災害や地震が頻繁に起きています。できるだけ早く、このようなパンフレットを作って頂きたいと思います。中学生が指定避難所で大人の方と一緒に活動ができるように、以上のような提案を致します。

以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【安全・安心・快適なまち③】

齊藤春樹（さいとう はるき） 豊科南中学校

私は、豊科南中学校二年、齊藤春樹です。

私は、交通安全についてお尋ねいたします。

自分が思う課題は、交通安全グッズを配って、交通安全の意識を高める活動を行っていますが、交通事故で死亡者が出ているということです。

その課題がなぜ起きているのかということ、交通安全グッズを配っても、「そんなもの必要ない」と思って、持って歩かない人がおり、十分に活用されていないためではないかと思えます。

そこで、私は今までより効果があり、事故にあう人が少なくなり、また若い人も高齢者も活用したいと思うような交通安全グッズを新しく作ることで課題を解決する方法を考えました。

新しい交通安全グッズに、僕がつけてほしい機能は、車にひかれる事故を防ぐ機能。後ろからひかれる事故を防ぐ機能です。

その実現のため、市にお願いしたいのは、どんなグッズなら身に付けたり使ってもらえるかのアイデア募集をし、市民のアイデアを取り入れた交通安全グッズを開発して配布してほしいです。

そうすることで、今までより事故にあう人が少なくなる安曇野市になるのではないのでしょうか。

最後に、まだまだ交通安全の意識が十分に高まっていない今の状態を改善できますように、車にひかれないようにする新たな交通安全グッズ開発して市民に配布していただき、交通事故の少ない安曇野市を実現してほしいと思います。

以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。